

5/21(土) 15:00~17:00 清和台小学校 参加者53名 発言者 のべ27名  
○…ご質問、ご意見 →…川西市教育委員会の説明

#### <地域の方>

○1回目の説明会も、2回目の説明会も、参加させていただきました。受付で資料をいただきました。資料については、教育委員会としては今までだったらスライドを追って説明をされたんですが、今日はこれを配っただけで、もう本題に入って、皆様方のご意見をお聞きしますということですけども、これについて今日初めて来られた方もいらっしゃるかと思うんですけど、そういう方には説明をされないで、この資料を勝手にご覧下さいということで、ご意見を聞くということになるのでしょうか。

→資料の説明をさせていただきます。まず資料の1ページ目です。ここは、今までの流れということで書いております。校区審議会の答申が平成27年6月に出されました。その中で、26年度の人口推計を見ていった中で、清和台地区については、平成31年度4月に統合する方向で考えていくのがよいではないかという答申が出されたことを受けて、教育委員会では、統合に向けての作業を進めてまいりました。それで、児童数の減少というのについては、今現在の清和台小学校と清和台南小学校の児童数を出しております。そのあと、公立小学校の適正規模ということで書かせていただいたのは、教育委員会としては、単学級ではなくて、一定規模の児童集団を確保していくということが必要ではないか。それと、バランスの取れた教育的集団、つまり学級数に合わせて教員数が決まっていますので、教員の数を確保するためには、ある程度規模を維持していくという方向性を示しております。それから、資料の2ページ目でございます。これは、清和台小学校の児童数の推移です。一番児童数が多いときは、1,213人在籍していたところが、平成26年度で341人というところから、平成31年度には271人ということで、児童数は減少していく傾向がみられるということ、グラフのなかで表してございます。清和台南小学校につきましても、同じように児童数が減少していくということ、グラフの中で示しております。

資料3ページでございます。統合した場合の学校規模ということで、このような状況の中で、年度ごとに、仮に統合した場合に、どれくらいの学校規模になるかという推計でございます。それをもとに検証いたしますと、単学級が含まれない適正な規模の学級ができていくのではないかと、という形で、表示させていただいております。

それからその下、統合に関連して取組む事業ということで、留守家庭児童育成クラブの問題がございまして。今年度は5年生まで、来年度は6年生まで放課後子どもをお預かりするという流れの中で、放課後、児童育成クラブのための教室を確保していくということが必要であるということで、統合した場合には、教室の確保もあわせてしていくということで、待機児童の解消も含めて行っていきます。もう一点は、小学校の跡地をどのように活用するかということでございます。この点につきましては、統合が決定した段階で、市長部局の方と相談しながら、跡地利用を決めていく考えです。それから4ページ、統合に向けての課題ということで、①から④まで載せています。まず1番目は、統合する際には当然、学校名ですと

か校旗、あるいは校歌等についても決めていかないといけない、その場合には、教育委員会事務局と保護者・地域・教職員等で協議し、最終的には教育委員会の方で学校名等を決めていく、ということを書いています。それから、教育課程や学校組織等については、準備委員会を立ち上げて、学校の方で調整する。それからPTAについては教職員と保護者で協議して、教育委員会も間に入りながら、どういう形で組織していくか調整していく必要があるだろうという課題があります。統合に向けての課題②ですけれど、通学距離の問題です。通学距離は、国の基準もひとつあるんですけども、子どもにとっては大きく環境が変わる、それから高低差もあるということがございますので、対象となる児童に対しては一定期間内なんらかの支援をしていく必要があるということと考えております。5ページ、統合に向けての課題③ということで、通学路の安全確保です。安全協力員の協力であったり、あるいは青パトによる巡視であったり、通学路の安全確保ということで、働きかけもしていかなければなりませんし、あるいは登校班の編成の仕方なども、一つの例としましては、地区ごとに、小学生中学生が一緒になって登校するような工夫をしていったりということもあります。それから、防犯設備の充実ということで、防犯カメラも校区内に設置していくことも考えております。それから統合に向けての課題④のところですけども、これは魅力ある学校づくりということで、清和台地区というひとつの地区の中で、小中が同じ歩調で教育を進めていくのは、非常に必要なことと考えております。そういったことで、統合をするということだけでなく、いかに中学校と連携していくか、そういった取り組みも進めていくということを思っております。それから学校施設の整備ですけども、9年間、ひとつの地域という中でそれぞれの個性、ニーズなどを整理していくということも必要ではないかと思っております。必要なことは当然、地域それぞれの小中に入れていかなければいけませんし、小学校だけに必要なもの、中学校だけに必要なものといったものを精査していくといった課題もあるのではないかなといったことで書かせていただいております。

最後の6ページ、統合に係る学校支援ということで、やはり統合ということになりますと、環境がかわっていきますので、子どもたちへのケアがいる、そういった中で、できるだけ早い段階から、それぞれの両校が一緒に行事をしていくなどの交流をしていくなかで、お互いに顔見知りになり、スムーズな統合が行われるような両校での調整、こういったことが必要かなと思っております。それと、統合調整加配といいますのは、統合前に、突発的に単学級ができてしまったということに対して何らかの支援をしていくということで、具体的に言いますと、加配という先生を一人つけてきめ細かなケアができるように、そういった支援も考えております。そして統合後ですけども、統合したらすぐ打ち切っていくのではなく、ある程度期限を切った中で、支援は続けていくということを考えております。

今まで2回の説明会で色々なご質問が出てきたことに対しての、整理ということで第3回目資料とさせていただきます。

→もう一度追加で趣旨説明させていただきます。

第2回まで、詳しく説明させていただきまして、皆さんのお話合いがこれで終わりというような形で説明していたと思います。で、改めてですね、この内容について、教育委員会

で、もっとしっかり考えろというご意見があったと思います。で、他地区を含めまして、子どもさんの数の増えようを再度分析中です。

方針そのものについては、まだ市議会や市長の了解も得てるわけではないので、以前と変わらないのですが、少なくとも、今回3回目で打ち切りではないということをまずお伝えしたいと思います。ですので、今日で決定事項をお伝えするという風に申し上げていたかと思えますけれど、今日ではないということです。

それで、子どもさんの数の推移であるとか、そのあたり今ちょっと動きが変わってきています。不動産価格が安くなったもので、最初推計で予定していたよりも、若い方の転入が若干増えてきている。総人口の動きを、子どもさん関係なく見ていきますと、やはり大きな流れとしては少なくなっています。このあたりは、市のホームページでも前月のものが出ておりますので、確認していただけたらと思います。で、繰り返しになりますけれども、こういうような特別な動きが今あるので、これまでは2回目で終わりということでしたけれども、もう少しお時間いただきたいというふうに思っております。それで今日は、説明というより、再調査する時間をいただけないかなということをお願いに参っています。

#### <地域の方>

○今までの話で、1回目と2回目の説明会でいろいろな方からご意見があって、子どもたちのこととか、地域のこととか、いろんな方面から、ご意見がいっぱい出たと思うんですね。そういう中で3回目の説明会をやられているんですけど、今日の「小学校統合について」というこの6ページの資料ですが、まだ統合も決まっていない、住民の意見も合意に至っていない、反対意見とかいろんな意見がある中で、統合した場合、どうなるかとか、こうなりますこうなりますということが書かれているんですね。統合が決まってからする説明会の資料ではないかと思ったんですけど、この件についてはいかがなんでしょうか。

#### <在籍 保護者>

○今回で打ち切りでないと聞きまして、ほっとした次第です。

先ほどなんですが、説明の中で、人口推移の変化があり、かつ清和台も世代交代が起きてきて、今まさに若者世代が増えているということで、市議会の中で問題になってきて、もう少し見直しをしたいということで間違いないでしょうか。川西市の人口としては減少しているけれども、この清和台というところをみたところ、若い世代が入ってきている、で、児童数、学級数というものをもう少し見直して、統合に向けての話し合いをしていきたいというふうに冒頭でおっしゃられたと思うんですが、統合に向けて少し時間をいただきたいということは、少し保留になったというふうに、保護者は理解してよいのかどうか確認を取りたいのですけれども。

→資料につきましては、これまでの説明会の中で、今後の統合に向けてどんな動きがあるのかとか、あるいは学校としてどのような形で、子どもたちの環境をつくっていくのかという

ところの、先のところでの不安もあると思いますので、例えばこういう形で統合する場合はこういう方向で検討していますというのをお示しした資料ととらえていただければと思います。それから、議会、議員さんのほうからは、統合についての大きな問題である地域の皆さん方の理解を得ることが必要だと。そのためには、十分な協議があるんじゃないかというご意見を賜った次第です。そこで、地元の方とのお話をやっぱりもう少ししていくことが大事かなというところで、今回こういう風にお知らせさせていただいたものでございます。それから保留になった云々という部分での質問なんですけれども、現時点では、方針は変えてはいないんです。で、変えてはいないんですけれど、皆さんともう一回しっかりと話す機会を持つことが必要だということでお時間をください、ということでご理解いただければと思います。

#### <在籍 保護者>

○たぶんわかりにくいのは、方針は変えていないというところなんですけれども、おっしゃっている方針というのは、何年後に統合するという、第一回から説明いただいたことを、前提としているという意味ですか。

→まず、そこは変わっていません。住民の数なんですけど、清和台小校区におきましては、平成22年の3月末が、6314名、それから25年3月末が、6240名、28年3月末が、6039名ということでした。で、南小エリアは、22年3月末が、7805名、25年3月末が、7564名、そして28年3月末が7291名ということで、人口そのものは、両方とも増えていない、ただ、若返り世代において若干転入がみられる。この転入の動きについては無視できないので、どうしてももう一度確認したいと。で、お子さんが増えていくと単学級が発生しないことになりまして、そこらあたりしっかり見極めないとかんなど。で、今のところ、清小エリアの総人口と、南小エリアの総人口、同じだけの差なので、実際どのような形がよいのかも含めて、推計の一報をにらんでいる最中です。特にまだ、決断とか変更を表せる状態にないということで、ここはご理解いただきたいと思います。

#### <在籍 保護者>

○今のお話でしたら、とりあえず今日が最後の説明会ではなくなった、ということで、ただ、統合に関してはなくなってはいない。31年度に統合っていうのも、完全になくなった話ではないということでしょうか。そこがすごく気になる場所なんです。なぜかという、私の上の子が3年生なんですけど、私が知っている限りでは、入学前の説明会などで、統合しますよというアナウンスはなかったと思うんですね。統合する可能性があるんで、どっちの小学校にも近いお子さんは、南小を選ぶこともできますよ、とか、そういうアナウンスは一切なかったと思います。であるにもかかわらず、その子たちが6年生という一番難しい時期に統合しなくちゃいけない。最初の31年度というお話が変わっていないのであれば、その子たちが6年生の時にかわらなくちゃいけない。非

常に多感な時期で、難しい時期ですよ。なので、親の私としては、ほんとに不安でしかありません。精神的に、やっていけるのかなと。

それが一番気になっているところで、入学前に何も説明がなかったのになぜそんなに急ぐんだろというのを、一番聞きたかったところなんです。今日のお話で、とりあえず31年度はなくなりました、これから協議していきます、時間をかけて公表していきます、というのであれば、納得、という部分も多少出てくると思うんですけども。下の子でまた直面する事態ではあるんですけども、まだ気持ちの準備の仕方があろうかと思うんですね。だけれども、また今日、31年度の統合はあるかもしれないけれども、今日が最後の説明会ではありません、これから色々な問題点について協議していきます。だと、ではいつわかるんですかって思ってしまうんですね。本当にもう、31年度に統合というのを変えられないというのであれば、私としてはいち早く両校の交流とかを始めていただきたいし、たとえば、この子たちは向こうの新しい環境に放り込まれます。で、その子たちのケアを手厚くするためにも、ここでお世話になった教職員の先生のうち、何名かを必ずあちらに連れて行きます、とか、そういう具体的なお約束を、はやく示していただきたい。31年度は結局、全く無しではないけれども、まだまだ協議していくので、というすごくグレーな状態ということでよろしいのでしょうか。

#### <在籍 保護者>

○先ほどの方と同じよう内容なんですけれども、31年という方針は変わらない、時間をくださいとばかりおっしゃっているんですけども、統合に向けて②の、「環境の変化を考慮し、対象となる児童に対し一定期間内の配慮を検討」っていう、何らかの支援とかっていう、こちらもグレーとか、見えないですよ。そういうところやっぱりはっきりとまず打ち出していただかないと、私たちは南小のほうに吸収されるっていうイメージになりますので、そこをはじめに出していただいて、守っていただかないと、始まらないんですよ。お願いします。

→まず31年度の件ですけども、現在の方針はこのまま生きているという状況ですので、31年度でなくなるのかどうかということについては、教育委員会の方針としては、31年度ということで現在は思っております。非常にグレーではないかのご指摘いただいているんですけども、再度児童数であったりとか、支援の具体的なものであったりとか、そういったことも含めまして、課題の整理などをさらにする時間を少しいただきたいという願いを現在している、そういう状況でございます。

→本当に保護者の皆様の心情、十分理解しております。小学生が途中で、多感な子どもたちがもう一つの学校と円滑に人間関係ができるのか、そういったところの不安というのは重々わかっています。これまでも小学校中学校の連携というところでのお話もあったんですけど、小学校と小学校の連携、これはやっぱり事前にしっかりやっていくということが必要であると考えておりますので、例えば合同の行事ですとか、授業交流ですとか、今後方向性が決まれば、その段階で、学校でも正式に教職員と協力しながらしっかり深めて、円滑な人間

関係ができるようにしていきたいと思っています。それからもう一点、事前の交流を深めていくということが前提なんですけれども、やはり、不安にされている子どもたちもいますので、心のケアをしていくための臨床心理士免許をもった人の配置というのも市として、市長部局とすすめていくという方向で考えているところです。

#### <在籍 保護者>

・〇一言でいいますと、わかりにくいです。31年度に合併、統合するということで、でも、お時間いただきたい。児童数の推移を見守って考えていきたい。これは矛盾としか思えない。なぜかという、それだけの時間、一定の時間がほしいとおっしゃった。ということは31年を念頭に置いて動いていてどうするのかという、これが不透明です。皆さんが今不満や不安に思われているのは、今までの説明会のなかで、31年度に統合するとはっきりおっしゃっていました。2回目の説明会の一番最後に教育長がそういう風におっしゃってました。31年度統合ということで決定する方向で動いていますと。やっぱり私たちはそれを受け入れざるを得ない、もちろん不満もあります。様々な問題点が解決されないまま。でもそういうのであれば、そうしていかなければならないのかな、という気持ちはもうあったと思うんです。少なくとも私はそうでした。でも、またちょっと時間をいただきたい云々、もうちょっと話し合いをしてみんな納得するように時間をいただきたい。だったら31年、これはどうなるのかな、と。それをやっぱりご説明いただかないと。時間がほしいのであれば、31年度というのは白紙撤回します、と。で、もう一回地域住民の皆さんと話し合いをして、それでいい方向で納得できるように、そうってから32年33年34年という話がでてくると思うんです。このままの状態ではどうなんですかね、なんだかよくわからない。それをご説明いただきたいと思います。

→今ご質問いただいたことはよくわかります。ただ、我々が今お話しているのは、基本的なところでは方針は変わっていないんだけど、これがはたして本当に大丈夫なのかなということについて、もう一度きちっと精査する時間をもう少しいただきたい。統合ということは、非常に大きな問題です。一度統合した学校がまた分かれていくということは絶対にありえないことですので、そういった意味で本当に慎重に取り扱わなくてはならないということで、間違いのない統合をしたいということで、もう少しお時間をいただきたい。具体的にどのような形で支援をするのかであるとか、そういったこともすべて含めまして、きちっとした形で、またしかるべき時にご提示したいということで、推移を精査していく時間をいただきたい、ということでございます。

○では31年度から変わる可能性はあるということですか。

→現時点では、最初の方針は変わっておりません。ただ、もう少ししっかりと考えます、ということをお願いしております。

<地域の方>

○もう少しお時間をいただきたいという今の話、何度もお聞きしたんですけれども。若い人の転入とか色々あって人口が増えて子供の数が変わるかもしれない、そのようなこともおっしゃいましたけれども、それでも31年度は実施するんだ、でももうちょっとだけ時間が欲しいということは、私たちが、全員が納得するだけの材料をここに提示するから31年度には必ず実施しますそれではよろしいですかという、そういうお話でしょうか。

→その点につきましてもね、大変申し訳ないんですけれども、お時間をいただいた中でもう一度考えていきたいということですので、どちらともお伝えすることはできない。申し訳ありませんけれども、とにかくきちっと精査をするというだけを、ご理解いただけたらなと思っています。

○そこまで精査するのであれば、いったん白紙に戻して、このことはもっとしっかり色々なことを検討に入れて、また考え直しますという風にならないんでしょうか。

<在籍 保護者>

○もう少しお時間をとおっしゃいますが、いつですか。それをはっきりしていただきたいなと思います。

今日みたいな、土曜日の午後3時とかいう中途半端なお時間に開催していただいても、なかなか来れない方多いです。例えば説明会よりもっと意見をたくさんの方に言っていただける場を設けていただけたらかしたうえで、エンドをいつにしますっていう風におっしゃっていただかないと、31年度だけ見えてて、あなた達に与える時間がいつまでになるのかわからないままですと、こちらもすごくもやもやした気持ちで、すっきりしないですし、不安はますます募るばかりです。

今回の説明会は一応清和台南小学校でも設定してくださってると思いますが、清小の運動会の日にあたってますので、現実的には行けないですね。今日来れない方はその説明会も聞けないということになりますので、このあたりをもう少し配慮した日程で開催していただきたいと思います。

<在籍 保護者>

○結論としてはしばらく時間を欲しいっていう意見をおっしゃてると思うのですね。一方では、市議会議員の中で、地域住民の方の声をよく聞いて結論を出してほしいという意見もでていておっしゃってました。そうであればですね、最終的に結論を出すのはおそらく教育委員会の方であると思うんですが、今までの地域説明会は南小、清小別々にされてますよね。やはり地域住民の声を重視して結論を出すというのであれば、南小清小合同の、清和台の説明会というのをすべきだと思うんです。今までの説明会で、南小清小それぞれの時間をチェックしてみてるんですが、清小のほう

は、時間をかけて、皆さん質疑応答も長くて、問題提起もしてますね。一方でやはり南小のほうは、受け入れるっていう方なんで、あまりちょっと熱心ではない、温度はかなり低いのかなという風に思ってます。本日も保護者の方が多いと思うんですが、本来住民説明会というのであれば、保護者関係なく、地域住民全体、清和台住民全体に対して説明する、こういう問題がありますと、南小清小で温度差があると、お互い理解する必要もあると思いますし、そのうえでわれわれ清和台の住民としても一つの意見を出すと、そういう場が欲しいと思うんですね。やはりそういう声を聞いていただいて、最終的に教育委員会の方が結論を出すと。議会で立案を出す、という風にしていただいたらいいと思いますので、一度やはり、白紙になるかどうかという意見があると思うんですけども、児童数の推移をみるのと同時に、そういう説明会もやっていただきたいと思います。地域の住民として、保護者に限らず、ほかの方も含めて、どういう風に思うかという、そういう説明会をしていただきたいと思います。

#### <地域の方>

○この統合は、前の説明会で、単学級が発生するので31年度に設定したというふうに記憶しています。で、今若い方が増えてきて、このまま増えるかもしれないので、単学級を免れるのであれば、もしかすると統合しなくていいかも、というようなニュアンスで受け取ったんですけども。

前の時にも、インターができるとか、親元に子供を寄せるとちょっと補助がでるとか、そういう形で、市内に住人を増やそうというのがあるかと思うんですけども、そういうのがあるので、もう少し様子を見たらどうかという意見が出ていたと記憶しているんですけど。今になってそういうわかれたら、ほら言ってたじゃん、っていう感じにどうしても思うんです。なんでそこが今頃になって出るのかな、と。まあ実際増えたのだから、31年で設定したけれどもやっぱり撤回しますって言うてもらった方が、みんな納得すると思うんですけど、どうですか。それで、地域の人たちの話し合いをもっと進める、それはすごく感じてました。ここに越してきて15年ほどになりますが、子どもが小学校に通いだしてから、ここの自治体のすばらしさを、子どもを通して肌を感じております。現在も、本当に素晴らしい活動をしてきてくださっています。清和台の自治体活動のテクを学び取ろうっていうことで、他の組織からも毎年訪問してくるくらい、ここの自治体はすばらしいです。で、この自治体の方々の、住民の方々の熱意やらそういうことで3世代交流も踏み込んで行っていると思います。本当にいろんな活動を通して、登下校の見守りだとか、交流もね、本当にしてくださって、子どもたちはここが大好きです。それは、親だから、学校だから、里親だから、それだけではね、こういう感情は芽生えなかったと思います。やっぱりここの住民の方々のすごく熱心な思いだとか、そういうものでね、培われてきた郷土愛だと思います。そういうものを長年かけて育ててきてくれる自治体があるのでね、そういう方たちにもっともっと感謝するべきだと思います。ちょっと話がずれますけれども、いわゆる高齢化、清和台も高齢化が進んでます。シニアの方々の居場所づくり、生きがいづくりっていうのは大事な問題です、子どもだけではなくて。でも、今みたいに地域の小学校が減っていくとして事業が展開されていくと、かかわってくださっているシニア世代の方たちの能力だったり、そういうのも十分子どもに見せていける、シニアの方々達も、楽しみのひとつにさせていただけると、私は思っているので、そういう事業も清和台では十分育

ってきているので、それを南小だけにしてしまうのはもったいないと思うですけど、そのあたりの意見、思いを、市教委のみなさんももうちょっと引き継いでいただければなと思います。

→まずひとつは、教育委員会も、市も、統合をしたいから進めているのではないんです。統合ありきじゃないんです。子どもの数が減ってくるから、統合して、ある一定規模以上の学校を作った方がいいんじゃないのかということで、今までお話してきているわけです。なぜ今ここで立ち止まったのか、ちょっと考えさせてください、と言ったのは、子どもが増えてくるかもしれない、その状況を見させてほしいということで、今お願いをしているということです。いろんなご意見いただきました。白紙にしたらいんじゃないかというご意見、これは一つのご意見として預かって帰ります。それから、合同説明会を開いた方がいいんじゃないかというご意見についてもすべて聞きましたので、持ち帰ります。そういったこともすべて含めましてね、いろんな課題について整理をしていくお時間をもう少しいただきたいということです。それとあと、次回いつこういった説明があるのかというお話がございましたけれども、これについては申し訳ありませんけれども、今ちょっとお答えできる状況ではないです、けれどもできるだけ早くには思っています。

#### <地域の方>

○この（資料）3ページ、小学校跡地の活用というのがあって、「跡地活用についての協議を平成28年11月頃からスタート」と書いてありますけれども、はっきり書いてあるのはこの数字だけなんですけれども、これも撤回しないんですか。

→何度も同じことで本当に申し訳ないんですけども、現時点では、現在の方針を見直すということをお伝えしているのではなくて、ちょっと待ってください、お時間を下さいということをお伝えしていますので、平成31年度に統合するということを前提に、資料は作らせていただいております。そういった意味で、統合になった場合は、すぐに跡地利用については進めていくということを示している、とご理解いただけたらと思います。

○これ28年11月ですからもうすぐですよ。それまでに人口推移を見ながら判断して、11月にはもう決定している、と書いてある。

→この期日に関しましては、この時期からスタートができるということです。これは、清和台地区に限らず市内全体の公共施設の検討をしていくのがこの時期から始まっていくということでお示ししている次第ですので、この時期にはスタート、というとらえ方をさせていただくことはございません。

○しつこいですけどね、公共施設再配置に関する計画でしょ。この時には南小なのか清小なのか、すべて決まっているというわけ、なんですか。跡地利用するといっても、清和台小学校と南小学校

と、全然違いますよ。

→ご意見のとおりでして、この「公共施設の再配置に関する計画」というのは、つい最近皆さんに説明会をしたところでした。教育委員会主導ではなくて、市内全域の公共施設をどうするかという計画なんです。ここに書いてある資料は、すべて前回までの資料をそのまま使っております、今のところ、前回までの方針変えられませんというふうに言っておりますけれども、それが決定するまでは資料的にはこれが載ってきます。ちょっとわかりにくいのでもう一回言い直しますと、先ほどご意見いただいた中に、単学級でないかもしれないということになってきていると。そうすると、統合の可能性も変わるんですよ、年限も変わってくるんですよ、とおっしゃった方がおられます。率直に言うとその通りです。ただ、その数字を今見つけている最中です。それが明確になるまでは、公の場では名言できないんです。今の説明では、単学級がでるかでないかというのが言い切れない。非常に微妙なラインです。で、そのあたりもうしばらく時間をください。きちっと出しますので。出した後ですね、きちっと市民に了解を得る、その次に市議会なりに報告をして、それから物事が決まっておりますので、今しばらくお待ちください。先ほどの繰り返しになります、もしそういうように環境というか数字が変わってきたら、30年度、31年度という最初の計画が満たさなくなる。それを今我々も見ている最中であると。こちらの資料が前のままなのは、本当に申し訳ないです。それは、今の段階では、変えることを前提にお示しできないのであると。申し訳ないですが、そういう位置づけで、見ていただきたいと。できる限り早くちゃんとまとめまして、きちっとした手続きの元、ご案内するようにいたします。もうしばらく、繰り返しになりますけど、お時間いただければと思っています。

#### <在籍 保護者>

○1月の説明会の時点で、児童数の増加は見込めない、とおっしゃって、今、4か月後で、ちょっとずれている。で、あと3か月4か月の期間で見定めますとおっしゃいましたけど、その時に、やっぱり単学級になりそうです、じゃ31年度にします。となつて、その半年後1年後にこちらにインターが開設して、その時に人口が増えて、単学級という状態でないです、となる可能性があるんじゃないですか。早い時期に私たちが回答を求めたので、その時点で決定しました、って言われても、それじゃちょっと、そんなに振り回されることは納得できないですね。ここにいる人たちは、統合反対って思っている人がほぼほぼ全員なので、グレーな答え方はどうかなと思います。

#### <地域の方>

○今日この日に設定されて、説明会をされたと思うんですが、もうちょっとしっかりしたものを持ってきていただけたら、私どもも納得できたものがあったかもしれませんけれど、何を聞いてもはっきりしたものがなくて、そちらサイドからグレーな部分ばかり聞かせていただいている。今日はどうということをもってこの説明会を開催しようと思われたのか、お聞きしたいなと思ひまして。保

護者の方がすごく不安に思われていること、わかるんですね。今日3回目で、31年度統合というのは、納得できなくても仕方がないかなという考えの方もおられると思うんです。今日にいたっては、それだったら先ほどおっしゃったように、白紙撤回されたほうが、この学校に通う保護者にとったら、安心できるというか。人口推移を見てというのも、私たちにはよくわからないことだから、もうちょっとしっかりしたものをもって、今日開いていただけたらなと思うんです。

#### <在籍 保護者>

○最初は転勤族ということもあって、ちょっと客観的に見てたんですね。で、ちょっとあきらめている感もあったんですね。決まっているのならばしょうがないかなという。でもちょっとなんとかすれば、意見を言えば、もしかしたら白紙になるのかもしれないという可能性を感じながら、みんな来てると思うんです。で、それが本当にだめなら、早く進めてほしい、という気持ちを持っていて。人口の推移っていうのは全然変わりますよね、31年までの間にも。となると、結局どこの段階の数字を参考にGOを出すのかなと。結局は踊らされちゃうのかなっていう気持ちがあって。「言えません言えません」っていう、秘密にしなきゃならない情報があるだろうのはわかるんですけど、やっぱりある程度いついつまでに数値を見定めます、推移を見ますっていうのを示していただかないと、何回来ても同じことなのかなっていう感じになります。

→清和台小学校、南小含め清和台地区、人口そのものが減少傾向にある。そういう中で、清和台小と南小、これまでずっと推移を見てきました。教育委員会としては今まで、南小学校を予定に、期限は31年度をもって統合します、ということで説明をしてきました。当該地区全体の住民の数は減っていく、ただ0歳から5歳の就学前の子どもさんと、就学中の子どもさんの数、地域性もあると思うんですけど、少しずつ増えてくる可能性があるだろうと。断定的なことは言えませんけれども、今の段階でそういう状況も見え隠れしているなかです。例えば単学級が両校に出るか、あるいは著しく、一つの学校のほうでそういう状況があるかどうかを含めて、全体として分析を進めて、さっきおっしゃったとおり、これは推計ですから何人か前後するかも知れない、毎年。そういうことを含めて、色々、住民基本台帳のこととかですね、それから実質入ってこられる転入のことだって、十分把握できるものではございません。ただ、そういう状況も含めてですね、実際に今推計についてもう少しお時間いただいて、一定のめどがたつ可能性があれば、そこを見定めてですね、次の説明会の際には、その辺を含めて、統合が果たしてどうなるのか、一定決まってきます。期限についてはさっき申し上げております。もしかしたら精査、推計について準備しているなかで時間的なことがあるかもしれませんがね。そういう意味では31年度をもって、と今教育委員会は考えておりますけれども、それ以降になる可能性もあるということはあります。そのあたりは断定できませんけれども、これに関しては今の市全体の流れがありますので、一定の手続きをして、一定の方向性というものも了解いただきながら進めていかななくてはならないということになりますから、今は担当部長なり参事がお話した中で、明確に言いにくいところは、さっきおっしゃったとおりです。そこを含んで、今お話をして、もう少しお時間を

いただいて、次の然るべき時期、地域の説明会の時には、きちっとお話をさせていただきたいと思っています。方針は変わりません。そういうところを前提で今進めています。ただ、今の推移の中で、繰り返すと、そういったところについてはもう少しお時間をいただいて、動向をみて、その段階で一定のめどがたって、可能性があったらということを経験した時期が来たら、当然これまでもすすめてきたことです。今後ですね、いろいろな事情を見ながら、せざるを得ない状況というものを踏まえたうえで、進めていきたいと思っています。さきほどおっしゃったとおり、こことこことを統合します、ということもあったわけですが、現実、やっぱり地域の方の声とか、それから議員協議会等でもそういう声を議員のなかからいただいています。そういう中で、整理して、地域の中での、今日のこの説明会になったわけです。ですから、グレーとおっしゃったけれども、その部分もあります。そこも含めて、一定の時間をいただいた段階で、次の時には明確に説明会をもって、お話をさせていただきたいと思っています。同じことを繰り返しましたけれども、このあたりよろしく願いいたします。

#### <在籍 保護者>

○そうしたらですね、今お話されたことをまとめると、平成31年度に統合という方向性としては変わることはない。ただ、今新しい人数、推移を計算してみると、やっぱり精査する必要性があるということで、このまま推し進めていくことはできない、というふうに判断したと認識してもよろしいでしょうか。

で、そこでなんですけれども、私たち保護者もですね、子どもがだんだん少なくなってきて、清和台小学校自体も、児童数がどんどん減ってきているのも実感しています。川西市自体の人口も、どんどん減ってきて高齢化してきていることも、日本全体を見てもね、みなさんご存知だと思います。だから、統合っていう方向のお話もね、統合は絶対反対っていうわけでもなく、保護者の中でもやっぱり子どもが少なくなってきて、統合っていうことは将来あり得るんじゃないかっていうふうに、みなさんどこかでひっかかっていると思うんですね。ただ、やっぱり自分の子どもが通っているときに、安全面がしっかりしていない、教育委員会として統合したらこんな夢のある小学校になるよ、こんなビジョンのある学校になるよっていうのが明確でないってところで、不安のほうは今が大きいんだと思うんです。不安が大きいと反発になりますよね。その部分をすくっていただきたいというところと、あと、清和台小学校のお母さん方が一番引っかかっているところというのが、平成31年度に統合という話ですけど、今の推移でいくと平成29年度に南小学校がまず、単クラスになります。で、33年度に清和台小学校が単クラスになります。だから、南小学校より遅れて単クラスになる予定が出ていますけども、そうなったときにですね、じゃあ南小学校に統合です、って聞いたときに、いや、こっちの方はまだ1クラスになってへんのに、なんであんな大通り越えていかなあかのやろって声が聞こえて当然だと思うんですね。だから、こちらの小学校のお母さんも、あ、これやったら統合しようがないねっていうところを、教育委員会のほうから示してくれないと、自信をもって「統合いいですよ」っていうふうに言ってあげられないっていうのが心情なんですね。だから、統合に向けてお話を進めていただけるっていうところはね、実際教

育委員会としては考えていかないといけない部分だと思うんです。でもやっぱり保護者としては反対という気持ちがある部分と、やっぱり統合しなければいけないねっていう気持ちの折れどころっていうのを今持ち続けているのが実際問題なので、親御さんの気持ちに添っていただくとか、地域住民の気持ちに添っていただくというのを大前提にして、精査したうえで、精査した数を地域住民にも示していただいて、コミュニティにも示していただいて、それから市議のかたにも示していただいてっていう、このルートでしっかり決まってきたのなら、うんていうしか仕方ないよねって思えるような、正しい方向性の統合に向けてお話を進めていただけたらなって思います。で、本来ね、教育委員会と保護者っていうのは対立する立場ではないと私は認識しているので、やっぱり手を組むところは手を組んでいかないといけないと思うんです。そこはやはり、信頼関係がないと築いていきませんので、どうぞよろしく願いいたします。

→ありがとうございます。今お話いただいた内容については、非常にありがたいお話ということと思うのを含めて、進めていきたいと思っています。ただ一番最初に、31年度の統合が無理であると判断した、と受け止められるのは、そこはちょっと違います。それについて判断するために時間をくださいということですので、現時点では判断を下していませんので、そこだけご理解いただけたらなと思います。

○じゃあそれは延びる可能性がある、というふうに認識していいですか。

→現時点では、なんともお答えできません。

○それもわからないんですね。

<保護者>

○さきほど、教育長が、人口の増が見込めるなら、延びる可能性もあるというふうにおっしゃいました。

→可能性はございますけれども、そのように判断をまだ下してはいません、ということです。だから可能性はあります。

○すみません、私は子どもに帰ってどう言えばいいのでしょうか。

<地域の方>

○いろんなご意見がでてましたけれどもね、本当に子どもにとってどんな苦しいことか一番抜けているっていうところがね。最初のところで通学路がね、距離が遠くなって危険な個所もあったり、ちっちゃい子たちが夏になると水筒一式、ランドセルも背負って、絵画セットとか色々なものを持

ちながら、それも一日じゃないんです。教育委員会の方が、歩きました、教育長がお孫さん連れて一緒に歩きましたというお話は聞きましたけれども、子どもたちは1年ずっと、卒業するまで通うんです、小学校。そういう中で子どもたちにとって統合がいいのかというところで、子どもたちの安全性とか、やっぱり小さい子たちが体力つけて中学校に行くのは、清和台中学校はあそこの距離で仕方がないよねと思えるけれど、清和台小学校があるのになんで統合になるのという、そこが一番のところですね。それと統合は子どもたちの心を傷つけるから反対ですというご意見もお聞きしましたし、子どもたちが何も知らないそういう思いが一番あるんです。そういうところで、地域のこととも考えるとどんどん高齢化が進む中で、地域の中で子どもの声が聞こえて、通学路を通っている子どもたちに、おはよう、いってらっしゃい、おかえりなさいっていう、そういうみんなで子どもを守りながら育てていくという地域性、それから地域の活性化の問題、コミュニティの問題、自治会内の問題、全部含まれてるんですね。それとあわせて、この人口がどんどん減っているという川西市全体のまちづくりのことも、一緒に考えていただきたいんです。どんどん人口が減っている中で、合計特殊出生率といって女性が子どもを産む数がどんどん減っていております。全国平均が1.41で、兵庫県の平均が1.40。それに比べて川西市は1.29と、さらに低いです。そんな中で、市が若い人が本当に住みやすい、川西で子育てしやすい町というところで、もっと若い人たちが流入できるような市の政策とかそういうことを考えるなら、統合しないで、さらに学校が元気に発展するという方向を第一に考えていただきたいと思います。

#### <在籍 保護者>

○本日この場所に来たかったお母さんのお手紙を預かっておりますので、代読させていただいてよろしいでしょうか。

こちらは土曜日の15時からということで、出にくい時間であることもあって出れません。南小のほうでは28日の運動会に重なっていて、そちらの方にも参加できないということで、どうしてこんな日に設定されているんだろうということで、お話を預かって、お手紙を書いていたので、私の方で代読させていただきます。

「毎朝登校時の見守りをしている保護者です。4月に新1年生が入学してきて、登校班での通学が1か月経ちました。当初は集合場所から学校まで25分かかり、何度も立ち止まったりしていました。31年度統合とおっしゃっていましたが、31年にも石道地区から新1年生が入学する予定であります。また、低学年の児童も在籍しています。清和台南小学校までの道のりはおよそ現在の倍ぐらいになり、登校に関する不安は大きいです。せめて、低学年の児童のバス通学などの補助を認めてはいただけないでしょうか。前回の説明会の時に、もっと遠い場所から通学している児童がいると、牛尾教育長のほうからもおっしゃっておられましたが、もともと学校が遠いことを承知で住居を決定するのと、突然遠くの学校へ通わなければならないのでは、次元が違う話なので、例として挙げてほしくないです」ということで預かっております。

そしてなんですけれど、28日運動会ということ、市教委さんのほうで分かってなくて設定されておられるのでしょうか。お母さんのほうは、もしあれだったら南小のほうに出たかったとおっしゃってるんですけど、やっぱりこちらの方に出られなかった方たちが、南小のほうに聞きに行き

たかった。っていうのが、清小が運動会では、やっぱり子どもの運動会のほうを優先と、どうしてもなってしまいますので、なぜその日に設定されたかというのを伺いしてもよろしいでしょうか。

→まず1点目、バス通学の件ですけれども、これについてはわれわれとしては何らかの形で援助していくということで、考えています。そういったことも含めて次回お示しすることができるのかなど。決して、通学距離が長くなったことを、いわゆる国が示している4km以内だから大丈夫、関係ないと、という対処ではなく、なんらかの援助を受けられることは考えています。それと日の設定のことですけれども、当初は同じ日の午前と午後で清和台地区の開催をしたかったんですけれども、今日は連Pの総会が午前中ございまして、どうしても取れなかったという事情がございまして、ずれてしまった、とそういうことでございます。

○別の日に設定されるというのは、考えられないんですか。それか先ほど言ったように南小さんと同時に実施するとか。

→現時点では同時にということは考えてませんでしたので。ご意見いただきましたので、今後の説明会ではそういう形も考えていきたいと思えます。

<在籍 保護者>

○さっき男性の方が、帰ってから子どもにどう説明したらよいかって質問されてたんですけど。そのあとに通学路のお話とか出たんですけど、今石道に住んでるんですけど、2月に子どもと一緒にランドセルを背負って一度だけなんですけど家から南小の正門まで歩いてみようということで歩き始めたんですけど、結局、その時はまだ1年生の終わりだったんですけど、しんどいながらも、パン屋さんのところで曲がって西門まで40分かかったんですけど。前回教育長さんがお孫さんを連れて35分ほどかかったとおっしゃったように思うんですけど、みんな一緒じゃないと思うんですけど、うちの子は40分かかりました。お天気も良くて、ほかに荷物も持っていませんでした。その時に子どもに、低学年の子に関してはバスでいけるかもしれないよ、とそういう話をしたんですけど、息子に、じゃあなぜ僕が5年生の時はバスで行けないの、歩きののって質問をされて。私も実際に歩いたんですけど、大人の歩きでもまあちょっと遠いなと、感じました。例えば役員とか授業参観とか、南小まで歩いて行かなければならないと思うんですけど、雨だと傘をさして歩いて。石道のまわりにはまだ未就学園児の子もおられますし。まだまだ小さい子がいるんですけど。子どもにそう質問されたときに、私は子どもに答えられなかったんですね。大人でもちょっと遠いと感じます。(歩いたのは) その日一日ですけど、実際には月曜日から金曜日まで毎日ですよ。やっぱり遠いという面ですごく不安で、2年生になって、6校時が週1回火曜日に始まったんですけど、それでも帰ってくるのは4時かそれを超えてまして。遠くなるとそれもまた遅くなるし。南小ということが決まったのかっていうのがよくわからないんですけど、実際歩いたことをお伝えしようと思って発言させていただきました。

#### <在籍 保護者>

○先ほどの方質問ありましたように、前にもスクールバスを出す、補助を出す、というのが検討中と、第1回目、2回目とずっと検討中で、いつ結論を出していただけるのかと。統合後もしするという結論が出た時には、その辺の安全面ですね、バスを出す出さないという具体的な案をぜひ示していただきたいと。いつまでも検討中であれば、我々も納得することはできないと。それと、先ほど人口推移を見守るということをおっしゃっていましたがけれども、人口推移なんていうのは、変わるわけですし。学校が廃校になるといって、この清和台小学校地区には若い世代が流入してこない。実際住んでおるんですけど、空き家が古くなって誰も買わないという状態が続いています。ですから人口推移なんて言うのは、土地が売ればいくらでも増えてくるでしょうし、小学校が廃校するとなってくると、どんどん人口も減って行って、小学校に近いところに移っていくと。あまりその辺は参考にはならないのと違うかなというふうには思います。あと小学校の廃校というのは地域にとって非常に大きな問題ですから、地域の方の意見を聞いて、地域の方もやむを得んなどというところまで、地域の方の意見を十分聞いていただいて、議論を進めていただいたら、ということが大事だと思います。

#### <地域の方>

○バスの件について、前回の時も同じことをおっしゃっていて、デジャヴかと思うような、同じようなやり取りっていう感じで。私が今回来たのも、石道の子もたちがやはり心配でして、何かいい答えが来るかなと思って。精査して人口推移を見守るまではとりあえずちょっと答えられない、というお話は分かるんですけど、それはそれ、でも、前回から3~4か月経っているんで、その間になんらかの、石道の遠い子が来るのが具体的に案があったりそれを話し合いをされたのかどうかすらわからない、という状態で。そこは動いているのか、それも止まっているのか、なにかしら決まらないうと進まない状況というのもわかるんですけど、何かちょっとでも、こんな案があります、決定ではなくてもこういう話し合いをしています、交渉をしています、という何かがあると、ちょっと納得できるというか、落ち着く感じはあります。すいませんが、もう少し具体的に答えを出していただけたらなと思います。

→今案でもいいというお話でしたけれども、あくまでも案ですけれども、バスの援助をしようと思っています。

○それは低学年、1~3年生ということでしょうか。

→そのあたりの細かい部分については、地域住民の方とのご相談ということで、思っております。というのは、申し上げにくいことですが、他地域とのバランスですとか色々なことを考えなければなりません。ただ、原則としては低学年ということを考えています。あくまでも案ですので、こういう方法がとれるだろうということを検討しているということで、決定

していることではございません。統合した場合には、そういうことをしようと考えている、そういうとらえ方をしていただけたらと思います。

<在籍 保護者>

○今、5年生と2年生と2歳の子がいるんですけど、統合に関しては今の2年生の子と2歳の子が関係してくるかなと思ってんですけど。通学路として石道ほど遠いわけではないんですが、2歳の子に関しては、いっしょに行ける子が周りにいるかというのが不安な面ありまして。2年生の子が5年生の時に統合になって、同じ年に1年生として入ることになって、もしかしたら一緒に行けたら行きたい思いもあるんですけど、31年度から考えられてるっていうことなんですけど、南小っていうことも変わらないんでしょうか。それとも南小か清小かというのも考える余地があるんでしょうか。

→繰り返しになって申し訳ないんですけども、現段階では当初の予定の変えていませんので、現段階では特にそれについてはお答えできません。申し訳ないです。

<在籍 保護者>

○現段階ではっていう話が非常に多いんですけど、ある程度、こういう条件ならばこういうプラン、こういう場合はこういうプランっていうのをたぶんお持ちだと思ってまして。で、さらに意見が出てきて、検討されていると思うんですけども、たぶんそのどういう行程で、いつまでに何が決定される予定で話をされてるのか、誰にも今見えてなくて、それで非常に不安になっている状態です。例えばこういう今検討している内容をあらかじめ工程表にして皆さんに示していただけたらと思います。それから、あともう一つ、これから統合するしない、検討されていると思うのですが、その条件によっては、すぐに今から決めていかないと、31年度に統合となった場合、間に合わないこともあるんじゃないですか。そうすると、今から検討されて、最終的にどこにどういうプランを、っていう場合にすでに今から着手していないと、色々な問題が出てくるっていうのがすでにわかっていることもあるんじゃないかと。そういうことも含めて、今から検討されることが、こういう条件だった場合はこういうプランになるし、こういうことになった場合はこういうプランになる、で、Aというプランを採用すると、今からやっておかないといけないことが見えてるのであればやっておかないと、それは結果それを使うことになるかはわからないですけど、そういう考えたプランをあらかじめ皆さんに、色々な形で提示されるべきではないかなと思いました。

<在籍 保護者>

○今の方のお話は、行程表を出してくださいね、はいわかりましたということであげておられると思うんですけども。例えば安全策でガードレールをつけるとか歩道橋をつけるとか、予算がかかることであればいつまでに決定しないとそれができないというか、そういう行程表は必要だと思う

んです。それをしっかり示すべきではないかと。例えば統合する場合はこういう感じ、統合しない場合はこうと。少なくとも安全に関しては統合するしないにかかわらず、やっていくべきものもあるでしょうし、進めていく話であるかと思うので、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

→（司会）ご意見として十分に伺わせていただきました。

#### <在籍 保護者>

○確認したいんですけれども、31年度の統合が延びるとしても、31年度に統合するとしても、小学校は南小学校になるっていうのは決定していることなんでしょうか。延びた場合、南小を使うっていうことも白紙になるのでしょうか。

→繰り返しになりますけれども、場所については清和台南小学校ということで考えております。

→（司会）たくさんの貴重な意見をありがとうございました。いただいたご意見につきましては、次回の説明会で回答をさせていただきます。

#### <地域の方>

○すみません、最後にひとつ言わせていただきたいのですが、議員さんとの話し合いの中で、地元の理解を得てからという話が出ているということで、色々なことを検討して、ということでもう少しお時間を下さいという中で、地元の理解を得るために、どういうことをされるのか、考えていらっしゃるかということをお聞きしたいのと、それから、市議会だよりにね、説明会を20回やりましたということが出てたんですね。私たちは、清小南小それから緑台小学校陽明小学校2回ずつ開いてると聞いてて、今日は清和台小学校3回目なんですけど、小学校に関しては、20回もやってないと思うんですね。どういうところでどういう説明会を何回やって20回になっているのか、お聞きしたいと思うんです。それとやっぱり地元の理解を得るところでは、そういうことを具体的にどういう風にやっていくのかということも含めてお話しいただけたらと思ひます。

→まず1点目の、地元の理解をという部分で、こういった形でお時間をいただくということですので、一つはご提案いただいたような、両小学校合同の説明会のようなもの、場合によってはそれぞれの小学校、あるいは次回は大きい枠、小さい枠とわけながら、意見を十分に聞いていきたいっていうのは、今後設定していきたいというふうに考えております。

→（20回というのは）市議会の中で教育委員会が答弁している内容をおっしゃっているのだと思ひます。数字で申し上げますと、グリーンハイツで15回、清和台で14回で、29回になります。で、おっしゃっている住民説明会はそれぞれ3回です。何がほかにあるのか

といいますと、例えば、個別の話で申し上げますと、PTAさんが対象であったり、地区の役員さんが対象であったり、大小をあわせますと、このような回数になります。ですので、実際の答弁の時はその両方の合計を申し上げたわけですし、20回以上となっています。これからもそうなのですが、部長が申し上げたので私が重ねて言うことではないんですが、引き続き、時間をいただくということは、小さい集會も、両地区、両校区ですね、合わせた大きいものも含めて、できる限りお聞きできることは聞きたいという姿勢であります。そういったことで、今日の説明会の内容の趣旨がグレーであるというご意見は十分わかりますが、本日についてはちょっとだけ時間をいただきたいと。それと、私どもも案は持っておりますが、なにぶん言葉にする場合には、市議会を通したり、色々な手続きが必要になってきます。予算もそうです。考えています、予定です、まだしか言えなくてとても申し訳ないんですけども、そういった意味で出来る限りのことは引き続きやっていますので、そこはちょっとお任せいただきたいなと思っています。

→（司会）それでは最後にご挨拶を。

→長時間にわたって貴重なご意見をいただき、本当にありがとうございました。途中ちょっと申し上げましたけれども、決して、統合をしなければいけないとか、統合をしたいから進めているということではございません。一番最初の説明でも申し上げましたけれども、本来小学校というのは地域の中心であるということは、よく存じております。いろんな行事であったりとか、地域の活動であったりそういったものが小学校を中心に形成され、その中で培われていっているということは十分承知しております。そういった意味で、統合がしたいからではなくて、子どもの数が減った時に子どもたちをどのような環境に置いてやるかっていうことで、統合の話をしているわけで。もうちょっとしっかりと人口の推移を見たいということで。グレーの部分がたくさんございますけれども、さきほど申し上げた通りに、地域住民の方と話す機会をもっともっとたくさん設けていきたいということを思っておりますので、色々なご意見を吸い上げながら、進めていくということで考えておりますのでそのところをご理解していただきたいと思います。本日はどうも長時間ありがとうございました。

→（司会）たくさんのご意見をありがとうございました。これを持ちまして、本日の地域説明会を閉会いたします。ありがとうございました。お気をつけてお帰りください。

---

終了